

2020年9月23日

学生の皆さんへ

学 長
後藤 直正

2020年度 後期教学プログラムについて

世界的な COVID-19 のパンデミックに直面し、本学でもその拡大を防止すべく、本年度前期の休校、再開しても講義や実習は平常とは異なる方式で実施し、さらには分野での研究活動、課外活動など多くのプログラムの制限及び禁止措置を取りました。不自由で意欲が削がれるような日々であったことと思います。しかし、皆さんが指示や要請を守ったことから、本学では感染クラスターの発生もなく今日に至っています。皆さんの忍耐と努力に心より敬意を表します。

さて、9月に入り COVID-19 第2波も収束の傾向が見えてきました。収束傾向とは言え、再燃の可能性は否定できません。医療系学部である本学では継続的に感染拡大防止に努めるべきですが、大学での本来の勉学を取り戻すことも必要です。後期の教学プログラム計画を再考し、予定しておりましたオンデマンド型講義に部分的な対面型を加えることを検討しています。社会の感染状況を見ながら、ICT 機器を介するのではなく、皆さんと顔を合わせて学ぶ場を持つよう進めております。また分野での研究活動も順次拡大したいと思いますし、課外活動についても感染防止を考慮した活動計画をたてた部に再開を許可する方針です。徐々にではありますが、通常のキャンパスライフに近づけることができるよう鋭意検討を進めています。

私たちは COVID-19 に対する有効な治療薬やワクチンを手に入れたわけではありません。現在の収束傾向は新しい生活様式の実践と行動自粛によって得られたと言っても過言ではありません。皆さんには引き続き、会食や飲み会などの開催や参加を避けて頂きますようお願いいたします。

秋が深まり、冬に至ればインフルエンザの同時流行も懸念されています。人々の生命を守り、正常なキャンパスライフを取り戻すための有効な手段は、現在のところ3つの密（密閉・密集・密接）を避け“新しい生活様式”を実践することしかありません。気を緩めることなく、ともに新しい生活様式を守り、この難局を乗り越えましょう。

以上